ARＩマイリサーチ評価のためのルーブリック

評価基準や視点	S （5点）	A （4点）	B （3点）	C （1点）	D （0点）
分量	規定枚数（A4用紙2枚以上、表紙除く）を満たしており、文章量も十分にある。	規定枚数は満たしているが、空白が多く文章量が不十分である。	規定枚数を満たしていないが、内容はまとまっている。	規定枚数を満たしておらず、内容もまとまっていない。	未提出
研究内容の理解	研究内容を良く理解し、内容を自分なりに再構築し、自らの意見を述べている。	研究内容を理解しているが、自分なりの表現としては不十分。	研究内容をあまり理解しておらず、内容におかしな点が見受けられる。	研究内容を理解しておらず、内容も不十分。	未提出
表現力	資料、グラフ、図などが活用され、分かりやすく、根拠を提示した説得力のある内容となっている。	分かりやすく、説得力のある内容であるが、根拠の提示が不十分である。	資料等の活用はなされているが、やや説得力に欠ける内容となっている。	資料等の活用がなされておらず、内容も説得力に欠ける。	未提出
取り組む姿勢	資料などを熱心に調べ、積極的に取り組んでいた。	授業の取り組みとしてまじめな姿勢で取り組んでいた。	資料の準備をしていないなど、積極性に欠ける姿勢が見られた。	ほとんど取り組む姿勢がみられなかった。	レポートを提出しなかった

各講座の担当者が評価を行いました。提出されたレポートに対して、「分量」「研究内容の理解」「表現力」の観点で、授業時の様子を「取り組む姿勢」の観点で評価しています。生徒は、過去のレポート集を読んだ上で、レポートを作成しているため、レポートの質は年々良くなる傾向にあります。この状況を踏まえ、評価基準等の見直しを今後も続けていく予定です。